

四国発信研究環境調和推進プロジェクトシンポジウム 2023 (女性リーダー育成セミナー/女性キャリア形成支援セミナー同時開催)

- 1)調査目的 本調査は、シンポジウム 2022 において、参加者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
- 2)調査対象 シンポジウム 2023 視聴者
- 3)調査方法 シンポジウム 2023 終了後、メールにて Web アンケートへの回答を依頼
- 4)調査期間 2023 年 12 月 5 日 (火) ~2024 年 1 月 5 日 (金)

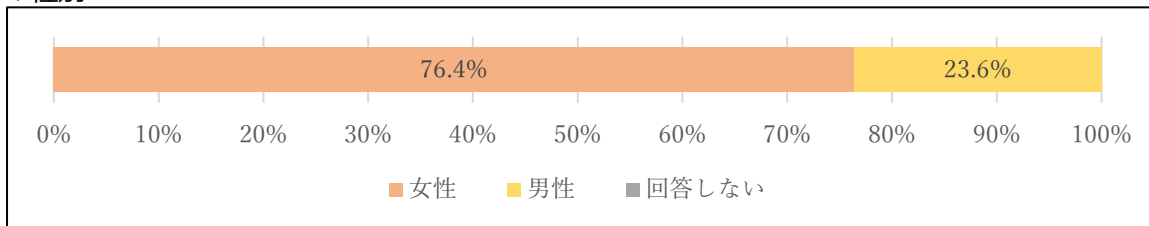
■アンケート集計結果

回答数 対象者 211 名、回答者 55 名
回答率 31.8%

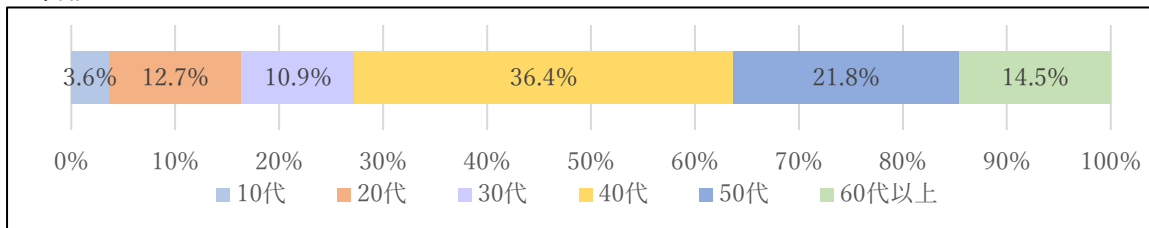
■アンケート調査結果

○回答者の属性

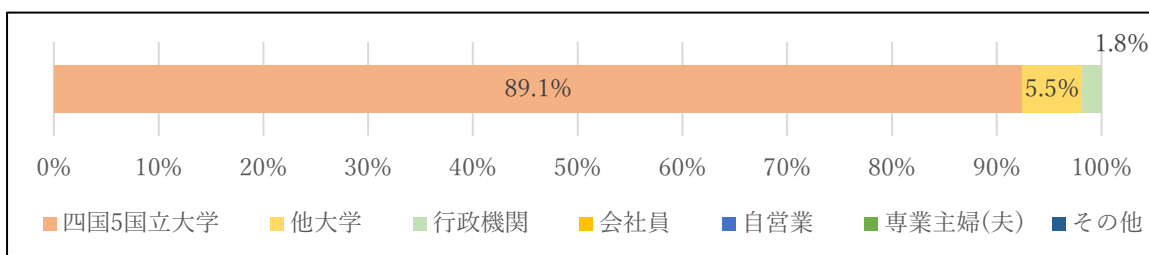
◆性別



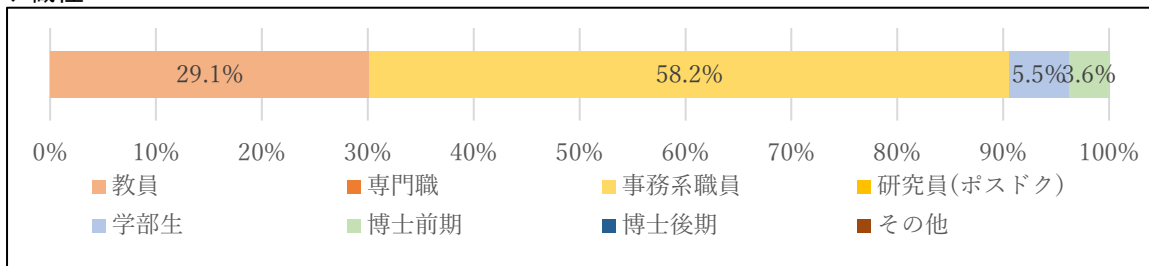
◆年齢



◆所属

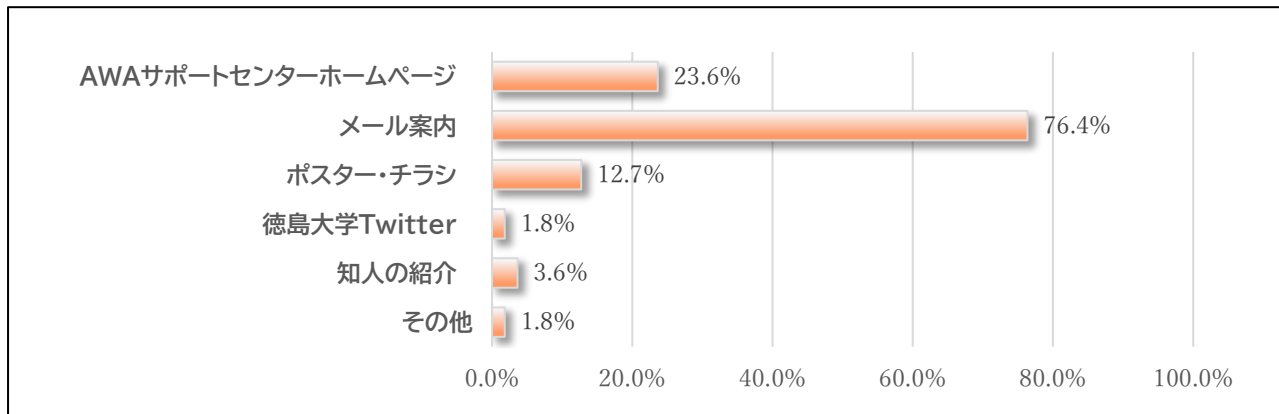


◆職種



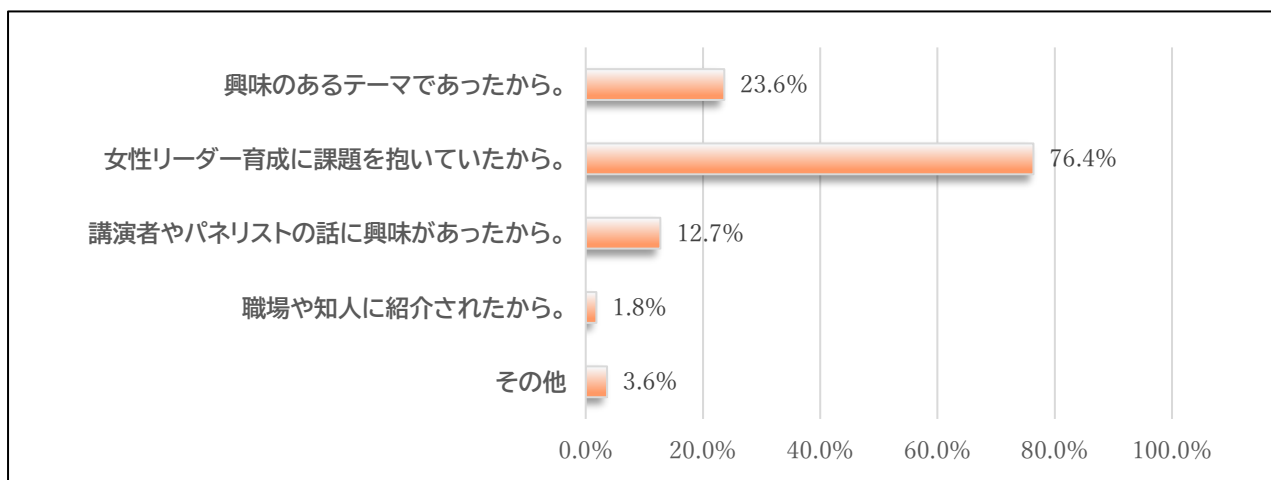
回答者の性別では、女性が6.4%で男性が23.6%であった。
年齢は10代～30代が27.2%で、40代以上が72.7%であった。
所属は、四国5国立大学が89.1%で、他機関等の学外からは7.3%であった。
職種は、事務系職員が58.2%と最も多く、次いで教員が29.1%であった。

問1. 本シンポジウムを知ったきっかけをお聞かせください。(複数回答可)



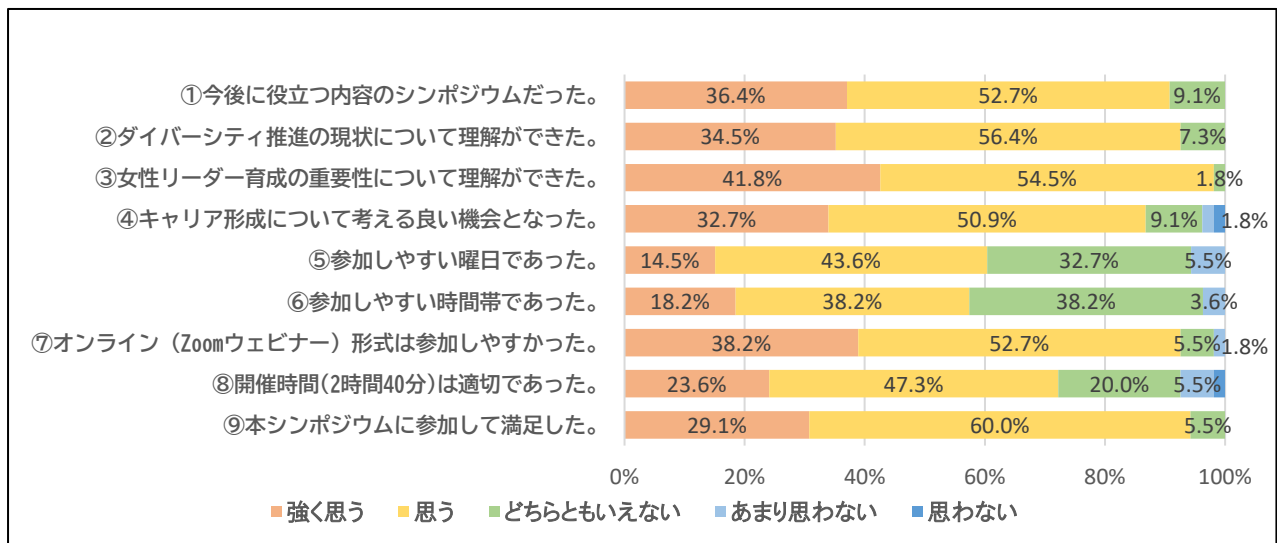
開催の広報効果については、『メール案内』が76.4%と最も高く、次いで『AWA サポートセンターホームページ』が23.6%であった。

問2. シンポジウムに参加された理由をお聞かせください。(複数回答可)



シンポジウム参加理由については、『女性リーダー育成に課題を抱いていたから』が76.4%と最も高く、次いで『興味のあるテーマであったから』が23.6%、『講演者やパネリストの話に興味があったから』が12.7%であった。

問 3. 以下の質問事項について、該当する□にチェックをいれてください。



『今後に役立つ内容のシンポジウムだった』に対して、89.1%が『強く思う』『思う』と回答し、また、『ダイバーシティ推進の現状について理解ができた』に対して、90.9%が『強く思う』『思う』と回答しており、開催意義のあるシンポジウムとなった。また、『女性リーダーの育成の重要性について理解ができた』に対しては 96.3%、『キャリア形成について考えるいい機会となった』に対しては 83.6%が『強く思う』『思う』と回答しており、女性リーダー育成の重要性やキャリア形成に対する理解を深められた。開催形式については、各項目の『参加しやすかった』に対して、『曜日』『時間帯』『開催時間』『オンライン』はそれぞれ、58.1%、56.4%、70.9%、90.9%と、過半数が『強く思う』『思う』と回答しており、大変参加しやすい開催形式であったことがわかる。また、89.1%が『本シンポジウムに参加して満足した』に対して『強く思う』『思う』と回答しており、総じて満足度の高いシンポジウムとなったと伺える。